

同性カップル 結婚式プラン

クリック

性的少数者 同性愛のレズビアンやゲイ、両性愛のバイセクシュアル、生まれつきの性別に違和感を持つトランスジェンダーなどの頭文字を取って「LGBT」と総称される。電通総研が2012年、20～59歳の男女約7万人を対象にした調査では、LGBTと答えた人が約5・2%に上った。

三原のエアポートホテル「支援」と「需要開拓」狙う

三原市の広島エアポートホテルは、性的少数者（LGBT）のカップルを対象にした結婚式のプランを企画した。LGBTの権利の保障をめぐる動きが国内で

も注目されるようになる中、全国的にも珍しい取り組みという。

会場は、同社が広島県から委託を受け運営する、近隣のゲストハウス「フォレ

ストヒルズガーデン」。プランは、チャペルでの挙式（人前式など）や衣装代、2泊分の宿泊費、食事代などを含め、1組38万～67万円。タキシード同士やドレ

ス同士の式もできる。4月以降の実施分の受け付けを始めた。

主に首都圏や海外からの利用を想定し、年間5組の利用を目標に掲げる。広島空港に近い立地を生かし、宮島などへの旅行を兼ねた利用も呼び掛ける。

LGBTの権利の保障をめぐる動きは広がりつつある。東京都渋谷区は、同性力カップルを「結婚に相当する関係」と認め、証明書を発行する方針を決めた。結婚情報誌「ゼクシィ」を企画制

作するリクルートマーケティングパートナーズ（東京）によると、2年ほど前から、ホテルなどでLGBT対象のブライダルフェアが開かれるなどの動きがある。だが、「結婚式のプランは全国でもまだ珍しい」という。広島エアポートホテルマーケティング部の新田真吾副支配人は「LGBTの支援になればと企画した。縮小傾向のブライダル市場で、新たな需要にもつながってほしい」としている。

（鴻池尚、山本庸平）